

# 未来を拓く国語教育の創造

—評価活動の充実を通して、学びの質を高める単元づくり—

読むこと部 研究主題

学びの質を高めるための、指導と評価活動の工夫

## 第1学年国語科学習指導案

### 単元名 じどう車ずかんをつくろう

～じどう車のしごととつくりを見つけよう～

学習材名「じどう車くらべ」(光村図書出版 1年)

日 時：令和4年12月12日(月)5校時 児 童：品川区立豊葉の杜学園 第1学年2組 32名 指導者：品川区立豊葉の杜学園 主幹教諭 多田羅智美
--

#### 1 単元の目標

- 事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。 (知識及び技能)
- 事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 事柄の順序に沿って簡単な構成を考えて文章を書くことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けることができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 (学びに向かう力、人間性等)

#### 2 単元の評価規準

	ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。 ((2)ア)	① 「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。 (C(1)ア) ② 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。 (C(1)ウ) ③ 「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。 (B(1)イ) ④ 「書くこと」において、文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。 (B(1)オ)	① 「読むこと」において、進んで事柄の順序を考えながら文章中の重要な語や文について考え、学習課題に沿って自動車のしごとやつくりを説明しようとしている。 ② 「書くこと」において、粘り強く事柄の順序に沿って簡単な構成を考え、学習課題に沿って自動車のしごとやつくりを説明する文章を書こうとしている。

### 3 単元構想

#### (1) 児童について（児童観）

本学級の児童はこれまでに、「くちばし」を読み、事柄の順序を考えながら内容の大体を捉える経験をしてきている。また、「うみのかくれんぼ」でも同様に、問いの文に、対応した事柄の順序を考えながら、内容の大体を捉える学習を繰り返している。1年生の実態として、身近な題材に興味をもち、文章を読むことにも積極的に取り組む姿がある一方で、表現の工夫までは目が向かず、言葉の使われ方に留意して読み解くことに対して経験が浅く、これから習得していく課題である。これらの学習と実態を踏まえ、本単元では、児童がそれぞれの自動車の事柄の順序に注意しながら、文章の中の重要な語や文を考えて選び出せるようにしたい。

#### (2) 学習材について（学習材観）

1年上巻「うみのかくれんぼ」と同様、「問い+答え+答え+答え」という列挙型の構成になっている説明文である。「どんなしごとをするのか」そのために「どんなつくりになっているのか」という具合に、問いが2つあり、2つの段落に分けて書かれている明確な構成である。全文シートから「しごと」と「つくり」を見付け、3つの自動車を段階的に読み進めていく際に「しごと」と「つくり」を各々の方法（色分け、絵に注釈を付ける、分けてまとめる、表に表すなど）で整理していくことで2つの関係性を一層はっきりと理解することができることを経験し、その良さを振り返りによって実感させていく。文章ばかりでなく絵や写真も手掛かりに「しごと」と「つくり」を考え、自分のお気に入りの自動車について、説明の文章を自分で書く活動もさせたい。

#### (3) 単元について（単元観）

本単元は、一次で「自動車のしごとやつくりをまとめる」という学習課題を児童とつくり学習計画を立てる。二次において3種類の自動車の「しごと」と「つくり」を読み、重要な語を考えて選ぶ力を身に付けた後、それを生かして他の自動車について書かれた文章を読み、「しごと」と「つくり」についてタブレット端末にまとめ、「デジタルずかん」を読み合うという言語活動を設定している。デジタルのよさは、いつでもだれでも共有できるところにある。自分が作成した学習シートを写真に収め共有をして「本」として読み合ったり、図鑑を写真に収め必要な情報の取捨選択に印を付けたり、デジタル上のフォルダーに「としょかん」を作り、残しておいたりすることができる。

「まなびのワザ」には、児童がどのように「しごと」と「つくり」を見付けたかを二次の読みの積み重ねによって振り返りとして記録していき、次の他の文章を読む時に活用できるようにする。単元末には、本単元でできるようになったことを一人一人が振り返る。三次では、本単元の学習を生かして、紹介したい自動車を選び、書く単元に入っていき、書いた文章を読み合い、感想を伝え合うところから自分の書いた文章の内容や表現のよいところを自覚させたい。

### 4 研究主題に迫るために

#### (1) 本単元で深めていこうとしている学びの質について

「読むこと」においては、文章からの情報に限定されず、自分の経験と言葉を結び付けて読み捉える力を養っていく。また、「書くこと」においては、イメージしたものをどんな言葉に置き換えたなら相手に伝わるのか考える力を養っていく。

#### (2) 学びの質の向上を図る単元の工夫

##### ① 単元の目標と単元を通して身に付けさせたい力を設定した意図

言葉の使われ方への自覚を高めさせる。「自動車がしごとをする」という自動車を擬人化した表現を自覚しながら文章を読む指導をすることで、身近なことを表す語彙を豊かにする学習をする。併せて、自動車の「つくり」を絵と対応させて具体的に想像しながら捉え、「そのために」という接続詞の使い方を理解した上で、その自動車の「つくり」は、その「しごと」に対応したものであるか考え、自分が必要としている情報を選び取る力を育てる。

また、「しごと」や「つくり」という抽象的な言葉と、「にだい」や「タイヤ」などの具体的な言葉とのつながりを児童が意識できるように言葉の概念を理解させる。

② 主体的、対話的で深い学びの視点での授業改善につながる工夫

読みのめあてに対応した「学びのワザ」の活用

児童にとって身近な存在である自動車に焦点を当てて、自動車について書かれた文章や本を読む学習は、主体的に読むことを楽しむことのできる活動である。したがって、一次で学習計画を立て、二次で色々な自動車についての内容を楽しみながら読みつつ、培った読みの力を生かしながら自分が気に入った自動車の「しごと」と「つくり」をまとめ紹介し合う活動を行う。三次では読みの力を生かして自分の選んだ自動車について「しごと」と「つくり」を明確にして説明する文章を書いていく。そのためには読みのめあてに対応した読みの力を「まなびのワザ」と定義し、ワザを身に付けられるように「どのように読めば見付けられるか」を常に振り返り、様々なまとめ方を教室に掲示していくことで、友達とともに把握しながら学ぶことができるようにする。また、自分なりにまとめたものを3人組で確認し合う時間を設けることで、友達から学べるように設定した。

(3) 評価活動の工夫

① 「児童にどういった力が身に付いたか」という学習の成果をとらえる評価の工夫

理解したことを整理して書きやすい学習シートの開発

評価規準に沿って、内容のまとめりごとに、児童の学習の様子や全文シートの記述を中心に評価する。「しごと」と「つくり」を明確に理解し、全文シートに色分けした線が「しごと」と「つくり」に正対していればB評価とする。また、さらに自分の言葉で『じどう車ずかん』（表や作文）に「しごと」と「つくり」を整理して書いていけばB評価とする。さらにその「つくり」にはどんないいことがあるか自分の言葉で書いていけばA評価とする。友達に進んで『じどう車ずかん』（表や作文）を見せながら、自分が気に入った自動車の特徴を相手に分かりやすく伝えている、または紹介してもらった自動車に意欲をもって聞いている姿を見取る。

② 教師が指導の改善を図るための評価の工夫

振り返りの観点の明確化

前時に学んだことを基に次の読みの力を付けられるような学習過程を設定する。①「しごと」と「つくり」が大事な言葉であることを捉えられたかどうか。②1つめの自動車について、「しごと」と「つくり」を絵と対応させながら全体で確認し、まとめられたかどうか。③前時を基に、2つめ、3つめの自動車について自分の力で文章の中の重要な語や文を選び出せたかどうか。④「しごと」と「つくり」の関係性に気付けたかどうか。⑤第二次の学習を生かし、新たな文章から重要な語や文について自分なりにまとめられたかどうか。「しごと」と「つくり」を理解する過程(①～⑤)に連動しためあてをもたせ、学習後に「学びの手引き」に振り返るよう促す。スモールステップを踏みながら学習を進めていくことで自分のお気に入りの『じどう車ずかん』が完成できたという成就感や満足感をもたせる。

③ 児童自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるための評価の工夫

めあてを達成させるための「学びの手引き」の活用

「学びの手引き」を児童とともに作成する。「学びの手引き」の中で、自分がどのような学びのワザを使って、何に気を付けると「しごと」や「つくり」を見付けることができたかを毎時間問うことで、重要な語を見付けられたかを振り返らせ、自己評価させる。文章によって「つくり」が「つくってあります」「なっています」「ついています」等、多様な言葉で書かれている。その自動車の仕事に結び付く「つくり」を見付けることができ、仲間に伝えることを通して、「しごと」と「つくり」を理解し、自動車の特徴をまとめることができる姿を求めていく。

5 単元計画 (全10時間)

過程(次)	時	学習活動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
一	1	1 自動車クイズをする。	○自動車の写真を見せ、「この車の名前を知っていますか。」「これは、どんな車ですか。」と問い掛	

		<p>2 全文を音読する。</p> <p>3 感想を交流する。</p> <p>4 学習課題をつかむ。</p>	<p>け、自動車への興味・関心を引き出せるようにする。</p> <p>○感想の視点として、初めて知ったことや不思議に思ったことを示す。</p> <p>○問いの文を確認する。</p> <p>○教師が作成した自動車図鑑のモデルを示し、学習の見通しがもてるようにする。</p>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         じどう車ずかんをつくろう。       </div>		
		<p>5 今まで学習した説明文を読むときに使ってきた「まなびのワザ」を振り返る。</p>	<p>○「今までどんな説明文があったかな。」「どんなことに気を付けて読んできたかな。」と投げかけ、第2次で「しごと」と「つくり」を見付けるためにワザを活用したり、増やしたりする見通しをもてるようにする。</p>	
二	2	<p>1 自動車クイズをする。</p>	<p>○バス・乗用車の写真を示し、「この自動車の名前を知っていますか。」「どんな仕事をしているのでしょうか。」と問い掛ける。</p> <p>○バスや乗用車について知っていることを取り上げ、生活経験と本文を結びつけながら読んでいけるようにする。</p>	
		<p>2 本文を読み、学習のめあてをつかむ。</p>		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">         バス・じょうようしゃの「しごと」と「つくり」を見つけよう。       </div>		
		<p>3 教科書から、「しごと」について書かれた文を見付ける。</p>	<p>○「どんなしごとをしていますか。」という問いを確認し、問いと答えの対応関係を意識できるようにする。</p> <p>○構成を理解する手掛かりの一つとできるように、「しごと」は赤で線を引くようにする。</p>	
		<p>4 教科書から、「つくり」について書かれた文を見付ける。</p>	<p>○「そのために」という言葉を強調して問い掛けることで、「しごと」のための「つくり」という関係性を意識できるようにする。</p> <p>○他の自動車と比較してつくりを</p>	

	<p>5 本時の学習を振り返り、本文を読むときに使った「まなびのワザ」を学習シートに書く。</p>	<p>捉えることで、「しごと」のための特別な「つくり」であることを実感できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○構成を理解する手掛かりの一つとできるように、「つくり」は青で線を引くようにする。</li> <li>○「つくり」について、挿絵の対応する部分に丸をつける活動を通して、「つくり」の理解を確かにする。</li> <li>○「しごと」と「つくり」を、図鑑メモの形式で黒板に示すことで、次時以降表でまとめられるようにする。</li> <li>○バスや乗用車の自動車図鑑を示し、まとめ方をイメージしながら、学んだことを振り返ることができるようにする。</li> <li>○「しごと」と「つくり」を本文から見付けるために手掛かりとなる言葉を確認し、次時以降の学習につなげる。</li> </ul>	<p>◆【思考・判断・表現①】 事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉えているかの確認。</p> <p>★発言・学びの手引き 全文シート</p>
<p>3 ・ 4</p>	<p>1 自動車クイズをする。</p> <p>2 本文を読み、学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>トラック（クレーン車）の「しごと」と「つくり」を見つけよう。</p> </div> <p>3 教科書から、「しごと」と「つくり」について書かれた文を見付ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○トラック（クレーン車）の写真を示し、「この自動車の名前を知っていますか。」「どんな仕事をしているのでしょうか。」と問い掛ける。</li> <li>○トラック（クレーン車）について知っていることを取り上げ、生活経験と本文を結びつけながら読んでいけるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○構成を理解する手掛かりの一つとできるように、「しごと」は赤、「つくり」は青で線を引くようにする。</li> <li>○「そのために」という言葉を囲み、「しごと」のための「つくり」という関係性を意識できるようにする。</li> <li>○他の自動車と比較してつくりを捉えることで、「しごと」のための特別な「つくり」であることを実感できるようにする。</li> </ul>	

	<p>4 作成した図鑑メモを見せ合う。</p> <p>5 本時の学習を振り返り、本文を読むときに使った「まなびのワザ」を学習シートに書き、交流する。</p>	<p>○「つくり」と挿絵との対応する部分に丸をつけることで、「つくり」は外から見て分かることを実感できるようにする。</p> <p>○図鑑メモに「しごと」「つくり」「つくり」にどんないいことがあるか」を書く。</p> <p>○3人組で「つくり」について質問し合い、「しごと」に合った「つくり」になっているかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそのつくりになっているのか。</li> <li>・荷物を運ぶためにどんなつくりになっているか。</li> <li>・重い物をつり上げるためにどんなつくりになっているか。</li> </ul> <p>○トラック（クレーン車）の自動車図鑑を示し、まとめ方をイメージしながら、振り返ることができるようにする。</p>	<p>◆【知識・技能①】</p> <p>事柄の順序など情報と情報との関係について理解しているかの確認。</p> <p>★発言・学びの手引き・トラック（クレーン車）の図鑑メモ</p>
<p>5 本 時</p>	<p>1 前時までの学習について振り返り、まとめ方を確認する。</p> <p>2 本文を読み、本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="343 1238 986 1301" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>はしご車のずかんメモをかこう。</p> </div> <p>3 はしご車の「しごと」を絵や文章から確認する。</p> <p>4 はしご車の図鑑メモを書く。</p> <p>5 作成したはしご車の図鑑メモを見せ合う。</p>	<p>○絵に丸を付ける、サイドラインを引く、表に書く等、これまでの学習でできたことを確認する。</p> <p>○はしご車の資料をタブレット上で配布し、児童が書き込みやすいようにする。</p> <p>○資料を音読させ、文章を確認する。</p> <p>○「しごと」を全体で確認する。</p> <p>○資料のはしご車の挿絵に直接印を付けたり、サイドラインを引いたり、表に書いたりして「つくり」を探すことを例に示す。</p> <p>○3人組で「つくり」について質問し合い、「しごと」に合った「つくり」になっているかを確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜそのつくりになっているのか。</li> <li>・高いところにいる人を助けるために、どんなつくりになっているか。</li> </ul>	<p>◆【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>進んで、事柄の順序を考えながら、文章の中の重要な語や文について考え、学習課題に沿ってはしご車のしごとやつくりをメモにしようとしているかの確認。</p> <p>★はしご車の図鑑メモ</p>

		6 学習の振り返りをする。	<p>るのか。</p> <p>○振り返りの視点として、「しごと」と「つくり」が見付かったか、どうやって見付けたかを書かせる。</p>	
三	6	1 前単元の学習を振り返り、教科書を読む。	○「しごと」と「つくり」を見付けながら読んだことや「しごと」のための「つくり」であったことなどを確認する。	
		2 「じどう車ずかん」を作るための学習計画を確認する。	○児童の発言を整理しながら板書する。	
	3 情報の探し方やメモの仕方を確かめる。	○目的や見せる相手を意識できるようにする。		
	7	1 教師が作成した資料を使って、紹介したい自動車の「しごと」と「つくり」について調べる。	○資料は、図鑑を作るために必要な情報だけに絞ってタブレットで配布する。	
2 調べたことを図鑑メモにまとめる。	○困っている児童には「まなびのワザ」を一緒に確認する。			
8	1 前時に決めた「しごと」と「つくり」を見直す。	○「しごと」のための「つくり」であることを確認する。	<p>◆【主体的に学習に取り組む態度②】</p> <p>進んで、内容のまとまりがわかるように書き表し方を工夫しているかの確認。</p> <p>★作成した『じどう車ずかん』</p>	
2 メモと文章を見比べ、文章化する方法を確かめる。	○ここでは必ずしも文にする必要はなく、「しごと」と「つくり」の関係性を踏まえながら調べたことをまとめることが大切であることを伝える。			
9	3 構成を確かめて文章を書く。	○ペアで確認し合い、関係付いていないものがあれば修正できるようにする。		
		1 モデル文を見て読み返すポイントを確認する。	○メモを書き写すだけではないことを確認する。	
		2 前時に書いた文章を読み返し、間違いがあれば直す。	○手順を板書し、確認しながら進めることができるようにする。	
			○声に出して読み返すことで、誤字脱字に気付けるようにする。	
			○誤りがある文を提示し、読み返すポイントを確認する。	
			○読み返すポイントとしては、誤字脱字だけでなく、「しごと」と「つくり」の順番やその対応関係についても意識できるようにする。	
			○自分で読み返した後に3人組で「しごと」や「つくり」について質問し合い、「しごと」に合った「つくり」になっているかを確認させる。	

	3 図鑑のページを完成させる。	<p>○丁寧に清書に取り組むように、いろいろな人に読んでもらうことを確認する。</p> <p>○完成したら、タブレットで撮影し、共有できるようにする。</p>	<p>◆【思考・判断・表現③】 自分の考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。</p> <p>★作成したじどう車ずかん・学びの手引き</p>
10	<p>1 完成した「じどう車ずかん」を読む。</p> <p>2 読んだ感想を伝え合う。</p> <p>3 単元の学習を振り返る。</p>	<p>○学習計画を確認し、本時のめあてを確認する。</p> <p>○多くの人と伝え合えるように、ペアを変えながら行う。</p> <p>○読んでもらった感想から振り返るだけでなく、単元の学習を通してできるようになったことを、前の自分と比較して振り返ることも視点として伝える。</p>	<p>◆【思考・判断・表現④】 文章に対する感想を伝え合い、自分の文章の内容や表現のよいところを見付けている。</p> <p>★発言・学びの手引き</p>

## 6 本時の学習（5／10）

### (1) 本時のねらい

進んで、事柄の順序を考えながら文章の中の重要な語や文について考え、学習課題に沿ってはしご車のしごとやつくりをメモにしようとしている。

### (2) 本時の展開

学 習 活 動	○指導上の留意点	◆評価規準 ★評価方法
<p>1 前時までの学習について振り返りをする。</p> <p>2 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○絵に丸を付ける、サイドラインを引く、表に書く等、これまでの学習でできたことを確認する。</p> <p>○「しごと」や「つくり」を見付ける方法を学びのワザを確認する。《柱③》</p> <p>○学習計画から本時のめあてを確認する。《柱①》</p>	
<p>はしご車のずかんメモをかこう。</p>		
<p>3 はしご車の「しごと」を絵や文章から確認する。</p> <p>4 はしご車の図鑑メモを書く。</p> <p>5 作成したはしご車の図鑑メモを見せ合う。</p>	<p>○はしご車の資料をタブレット上で配布し、児童が書き込みやすいようにする。</p> <p>○資料を音読し、文章を確認する。</p> <p>○「しごと」を全体で確認する。</p> <p>○資料のはしご車の挿絵に直接印を付いたり、サイドラインを引いたり、表に書いたりして「つくり」を探すことを例に示す。</p> <p>○3人組で「つくり」について質問し合い、「しごと」に合った「つくり」になっているかを確認させる。</p> <p>・なぜそのつくりになっているのか。</p> <p>・高いところにいる人を助けるために、どんなつくりになっているのか。《柱②》</p>	<p>◆【主体的に学習に取り組む態度①】</p> <p>進んで、事柄の順序を考えながら、文章の中の重要な語や文について考え、学習課題に沿ってはしご車のしごとやつくりをメモにしようとしているかの確認。</p> <p>★はしご車の図鑑メモ 学びの手引き</p>
<p>6 学習の振り返りをする。</p>	<p>○振り返りの視点として、「しごと」と「つくり」が見付かったか、どうやって見付けたかを書かせる。《柱④》</p>	<p>○ <u>おおむね満足できる児童への本時以降の手立て</u></p> <p>・「しごと」に合う「つくり」を順序に気を付けて書くように助言する。</p> <p>○ <u>おおむね満足できる状況を目指す児童への本時以降の手立て</u></p> <p>・学びの手引きを一緒に確認しながら、「しごと」と「つくり」を見付けるように助言する。</p>

(3) 板書計画

<p>スクリーン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に配布する資料やワークシートを投影する。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">じどう車へんろん</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>はしご車のずかんメモをかこう。</p> </div> <p>いままでに見つけたワザ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しごとをします。</li> <li>・しごとは、じどう車のやわわりのこと</li> <li>・じどう車のとくちようが、つくりになる。</li> <li>・しごにかんけいするつくりをさがす。</li> </ul>
--	---

7 資料

<二次で扱うワークシート>



じどう車くらべ ずかんメモ① バス・じよう車 (なまえ)

<p><b>チャレンジ</b></p> <p>すわっていてもつかれない。ゆっくりできる。そとのけしきがよく見える。ながめがいい。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>しごと</b></p> <p>人をのせてはこぶ。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>つくり</b></p> <p>させきのところが、ひろくつくてある。大きなまどが、たくさんある。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>そのために</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>しごと</b></p> <p>人をのせてはこぶ。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>させきのところが、ひろくつくてある。大きなまどが、たくさんある。</p>	<p>そのために</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>
<p><b>しごと</b></p> <p>人をのせてはこぶ。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>させきのところが、ひろくつくてある。大きなまどが、たくさんある。</p>							
<p>そのために</p>								
<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>								



じどう車くらべ ずかんメモ② トラック (なまえ)

<p><b>チャレンジ</b></p> <p>おもしろいものもつをのせられる。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>しごと</b></p> <p>にもつをはこぶ。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>つくり</b></p> <p>うんでんせきのほかは、ひろいになってる。タイヤがたくさんついている。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>そのために</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>しごと</b></p> <p>にもつをはこぶ。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>うんでんせきのほかは、ひろいになってる。タイヤがたくさんついている。</p>	<p>そのために</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>
<p><b>しごと</b></p> <p>にもつをはこぶ。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>うんでんせきのほかは、ひろいになってる。タイヤがたくさんついている。</p>							
<p>そのために</p>								
<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>								



じどう車くらべ ずかんメモ③ クレーン車 (なまえ)

<p><b>チャレンジ</b></p> <p>おもしろいものもつことができる。車たががたむかない。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>しごと</b></p> <p>おもしろいものをつり上げる。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>つくり</b></p> <p>じょうぶなうでがのびたり、ごいたる。しっかりしたあしがついている。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>そのために</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>しごと</b></p> <p>おもしろいものをつり上げる。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>じょうぶなうでがのびたり、ごいたる。しっかりしたあしがついている。</p>	<p>そのために</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>
<p><b>しごと</b></p> <p>おもしろいものをつり上げる。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>じょうぶなうでがのびたり、ごいたる。しっかりしたあしがついている。</p>							
<p>そのために</p>								
<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>								



じどう車くらべ ずかんメモ④ はしご車 (なまえ)

<p><b>チャレンジ</b></p> <p>たかいたてもまてとどいて火をけしたり、人をたすけたりできる。</p>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>しごと</b></p> <p>たかいところの火をけしたり、にげおくれた人をたすけたりする。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p><b>つくり</b></p> <p>ビルの十二かいくらいまでとどくはしごがある。しょうぼうしがのるバスケットがついている。</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center; padding: 5px;"> <p>そのために</p> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;"> <p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p> </td> </tr> </table>	<p><b>しごと</b></p> <p>たかいところの火をけしたり、にげおくれた人をたすけたりする。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>ビルの十二かいくらいまでとどくはしごがある。しょうぼうしがのるバスケットがついている。</p>	<p>そのために</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>		<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>
<p><b>しごと</b></p> <p>たかいところの火をけしたり、にげおくれた人をたすけたりする。</p>	<p><b>つくり</b></p> <p>ビルの十二かいくらいまでとどくはしごがある。しょうぼうしがのるバスケットがついている。</p>							
<p>そのために</p>								
<p>その「つくり」には、どんないいことがありますか。</p>								



中		はじめ		段落の構成 □ 囲み・意味段落 ○ 数字・形式段落
<p>四 (8)(9)</p> <p>答え①②</p> <p>クリーン車のしごととつくり</p>	<p>三 (6)(7)</p> <p>答え①②</p> <p>トラックのしごととつくり</p>	<p>二 (4)(5)</p> <p>答え①②</p> <p>バスやじょうよう車のしごととつくり</p>	<p>一 (1)(2)</p> <p>答え③</p> <p>問い①</p> <p>それぞれのじどう車は「で」でななし「で」をしいているか</p> <p>問い②</p> <p>そのために「どなたをつくり」になつてつくり</p>	
<p>おもしろいものをつくり上げる。</p> <p>じょうぶなうてが、のびたりうごいたりするように、つくつてある。</p> <p>(車たいがかたむかないように)しつかりしたあしが、ついている。</p>		<p>人のをせては、こをひろくつづてある。</p> <p>せきせきのどごをひろくつづてある。</p> <p>(そこのけしきがよく見えるように)大きなまどがたくさんある。</p>		<p>学びのワザ(1)デジタル図鑑に必要な言葉を見つけては(1)</p> <p>○ しごと</p> <p>○ つくり</p>
<p>◎ 答えの文を見つめる。</p> <p>◎ 「しごとをしていきます」の前後をよく見る。</p> <p>◎ 「そのために」の後ろをよく見る。</p> <p>◎ 「つくりを表す言葉」を「なっています」「ついでいます」。</p> <p>◎ 「しごととつくり」の順序になっている。</p>		<p>◎ 答えの文を見つめる。</p> <p>◎ 「しごとをしていきます」の前後をよく見る。</p> <p>◎ 「そのために」の後ろをよく見る。</p> <p>◎ 「つくりを表す言葉」を「なっています」「ついでいます」。</p> <p>◎ 「しごととつくり」の順序になっている。</p>		<p>◎ 問いの文を見つめる。</p> <p>◎ 〇いづつのことまきかたれているか、考える。</p> <p>(二)</p>

網掛けは具体的に考えさせたいことば